

川崎町「道の駅」基本構想・基本計画

概要版

2021年3月

川崎町

## 川崎町「道の駅」基本構想

### □計画条件

川崎町の優位性	交通	・国道 322 号の整備 (将来 8,000 台/日) ・県道 95 号の交通量が多い (18,000 台/日)
	商業環境	・県道 95 号沿いに店舗が集積
	自然環境	・自然豊かな町
川崎町の課題	産業	・米・野菜・果物を生産 ・パン博が定着
	人口	・人口減少・高齢化
川崎町の目標	競合	・10km 圏に 5 か所の道の駅
	農産物	・農産物出荷者は少ない
道の駅への期待	総合計画	・ReBorn! 川崎町 人を育み、町を創る。 10 年先も住み続けたい町へ ・重点プロジェクト: 人・暮らし・つながりを育む
	アンケート	・町のイメージ向上、産業振興への期待が多い ・買い物の場、ゆったり過ごせる施設への希望が多い
事例	町内ヒアリング	・町の活性化、町のシンボル、雇用拡大への期待 ・チャレンジショップ、イベント、地域産品販売、キッズスペース等を希望
	全国事例	・商品重視、観光重視、地域コミュニティ重視のタイプ
事例	県内事例	・多くの道の駅で利用者数は 30 万人/年程度
	周辺事例	・いずれも物産直売が中心 ・付帯施設として温泉 (おおとう)、屋外遊具 (おおとう、歓遊舎ひこさん)

### □コンセプト

- 周辺の道の駅との差別化
- 町の施策との連携
- De・愛との連携
- 収益性の確保

**道の駅のコネクト**  
**多世代が楽しく過ごし、町の良さを発信し続ける道の駅**

<p><b>主な想定利用者層</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北九州・朝倉方面からの立寄り客</li> <li>・地域の人の買い物ついででの立寄り</li> <li>・休日の家族での利用</li> <li>・高齢者の利用</li> </ul>	<p><b>整備イメージ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆったりと過ごせる心地よい雰囲気</li> <li>・他の道の駅にない上質でハイセンスな空間</li> <li>・多世代間の交流により健康になれる場所</li> <li>・雨の日でも子供が遊べる場所</li> </ul>
---	---

交流

健康

食

### 川崎町の魅力を広くアピール

- ・住民同士が活発に交流し、健康に過ごしている町
- ・豊かな自然に囲まれ、おいしい食べ物を作っている町
- ・住み続けたい町を創るチャレンジを続けている町

## 川崎町「道の駅」基本計画

### □施設イメージ

コンセプトをイメージしやすくするための例示であり、具体的な配置計画は今後さらに検討を行う



### □導入機能

今後、導入施設の取捨選択や具体的内容の検討により、より特色ある道の駅づくりを目指す

機能	施設	内容	
屋外	休憩	<b>駐車場</b>	・小型車 95 台 大型車 12 台 臨時駐車場 小型車 65 台
	地域連携	<b>イベント広場</b>	・パン博等の開催 一部屋根付き キッチンカー駐車可能
		<b>芝生広場</b>	・自由に遊べる広々とした空間 イベントも可能
		<b>フラワーガーデン</b>	・四季折々に花が楽しめる本格的な庭園 ・広域からの集客・知名度向上を目指す ・花の手入れや散策・交流を通じて健康増進に寄与
		<b>プレイグラウンド</b>	・運動が楽しめる広場 健康遊具等を設置
休憩	<b>トイレ</b>	・道の駅を特徴づけるデザイン	
	<b>情報発信施設</b>	・De・愛をはじめ町内観光資源を案内	
	<b>レンタサイクル</b>	・De・愛との間を往来できる自転車を貸し出し	
屋内	休憩	<b>シャワーブース</b>	・軽く汗を流した後に利用可能
		<b>多世代交流施設</b>	・広域からの家族連れの利用が見込めるキッズスペース ・健康教室や発表会等に活用できる多目的スペース ・各種体験教室等が開催できる体験コーナー
	地域連携	<b>レストラン・カフェ</b>	・庭園を見ながらゆったりと楽しめる場
		<b>物販・軽食コーナー</b>	・地元産品を中心としたセレクトショップ ・短時間の立寄り客向けの軽食コーナー ・町民が出店できるチャレンジショップ
		<b>パン工房</b>	・パン・スイーツを販売し、パン博の町をアピール
		<b>商品開発室</b>	・川崎独自の新たな商品を開発
防災	<b>防災施設</b>	・防災倉庫、非常用電源等を設置	

## 食



レストラン

パンやスイーツ

キッチンカー

## 花



本格的なフラワーガーデン

## 健康・交流



イベントができる大屋根

自由に過ごせる芝生

交流スペース



健康遊具

子供の遊び場

おもちゃコーナー

## □施設整備手法

- ・本事業では、①民間資金を活用するメリットは低い、②設計・施工一括発注では町の期待との食い違いが生じやすい、③発注までの手続きに時間がかかる等の理由から、従来方式の発注が望ましい。

事業段階		設計	施工	運営・維持管理
従来方式		分離発注	分離発注	分離発注
民活 導入	DB	一括発注		分離発注
	DBO	一括発注（公的資金のみ利用）		
	BTO	一括発注（民間資金を活用）		

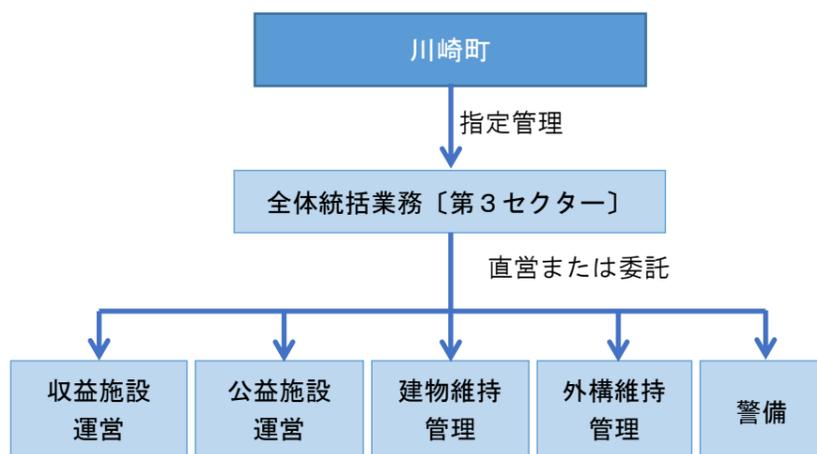
## □施設運営手法

- ・本事業では第3セクターによる運営を念頭に、出資が考えられる団体との協議を重ね、運営主体のあり方を今後具体化していく必要がある。

手法	公設公営（直営）	公設民営（指定管理者制度）	
運営主体	町	第3セクター	民間企業
町政の反映	直接反映可能	連携しやすい	連携しにくい
民間ノウハウ	なし	組成による	あり
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共目的が直接反映できる</li> <li>・公平性、継続性が担保される</li> <li>・行政施策との連携が図りやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政との連携が図りやすい</li> <li>・事業効率向上が期待できる</li> <li>・地域に密着した運営が可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業努力が生まれる</li> <li>・問題への対応が速い</li> <li>・民間の経営ノウハウを活用可能</li> </ul>
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収益施設の運営ノウハウがない</li> <li>・予算執行の面で、柔軟な対応が出来ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半官半民のため意思決定に時間がかかる</li> <li>・行政出資による危機感不足や運営能力欠如の例がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利潤追求の側面が強い</li> <li>・事業者本体の経営リスクが影響</li> <li>・地元との関わりが薄くなる</li> <li>・対応できる事業者が限定される</li> </ul>

## □管理運営業務の体制

- ・施設内容等に応じ、指定管理を行う事業者と詳細を検討する必要がある。



## □管理運営に関する概算収支（税抜）

- ・事業内容の詳細が未定の段階での概略検討であり、今後の事業化の進展に合わせて、より詳細に検討していく必要がある。

収支概算（千円/年）

	売上高	支出計	営業利益
飲食施設	105,000	94,500	10,500
物販施設	315,000	299,250	15,750
多世代交流施設	35,000	31,500	3,500
計	455,000	425,250	29,750

## □本事業に利用可能な補助制度

- ・本事業になじみやすいと考えられる制度を下表に示す。

省庁	名称
内閣府	地方創生推進交付金（まち・ひと・しごと創生交付金）
	地方創生拠点整備交付金
総務省	公衆無線LAN環境整備支援事業
農林水産省	農山漁村振興交付金（地域活性化対策、農山漁村活性化整備対策）
経済産業省	電気自動車・プラグインハイブリッド自動車の充電インフラ整備事業費 補助金〔高速道路SA・PA及び道の駅等への充電設備設置事業〕
環境省	二酸化炭素排出抑制対策事業等補助金（地域の防災・減災と低炭素化を同時実現する自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業）
国土交通省	社会資本整備総合交付金（道路、市街地、公園、住宅相談・住情報の提供等）
観光庁	「道の駅」インバウンド対応拠点化整備事業

## □概算事業費（税抜）

項目	数量	単位	単価（円）	工事費（百万円）
建築工事				
本体	1,900	m <sup>2</sup>	300,000	570
庇・大屋根	400	m <sup>2</sup>	150,000	60
計				630
土木工事				
造成工事	20,000	m <sup>2</sup>	2,000	40
給排水工事	20,000	m <sup>2</sup>	4,000	80
外構仕上工事	20,000	m <sup>2</sup>	17,000	340
計				460
合計				1,090

\* 調査・設計監理費、土地取得費を除く

## □事業スケジュール

年度	2021 （令和3）	2022 （令和4）	2023 （令和5）	2024 （令和6）
測量・地質調査	[2021]			
埋蔵文化財	[2022]			
設計	基本設計	実施設計		
施工	[2023]		造成工事	建築工事
管理運営	運営方法検討 指定管理者選定		設計内容調整	運営計画策定、体制構築
許認可	事業認定申請	開発許可	建築確認申請	
道の駅登録	事前協議			登録申請

## □今後の課題

### ①特徴の明確化

- ・周辺の道の駅や類似する民間施設と競合しない、独自性のある道の駅
- ・道の駅のテーマやターゲット層を絞込み、特徴を明確化

### ②収益性向上方策の検討

- ・収益性を確保していくための検討
- ・町独自の新たな商品の開発

### ③施設内容の具体化

- ・施設内容の具体化
- ・予算規模の設定と、施設規模やグレードの検討
- ・施設内容に見合った駐車場規模の検討

### ④運営体制や運営方法の検討

- ・運営体制、人材発掘の方法
- ・施設利用料と管理委託料の設定方針

### ⑤地域住民の運営参加・サポーターの育成

- ・地域住民が企画や運営に積極的に参加できる機会や仕組みの検討